

## 普及活動情勢報告（平成29年10月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### シシトウ促成栽培の実証ほ設置

～チビトビカスミカメの防除技術を検討しています～



ハウス外サイドへのホリバー設置

10月4日、シシトウ促成栽培におけるチビトビカスミカメの実証ほを設置しました。農業技術センター昆虫担当の現地試験を兼ねており、27年度から実施しているものです。ハウス内における天敵、害虫の発生推移を調査するとともに、ハウス外にホリバーを設置し、ハウス外での発生状況を確認していきます。

農業改良普及課ではこの調査と併せて、部会員のハウス内を定期的に巡回して天敵と害虫の発生推移を確認し、チビトビカスミカメの防除技術について検討していきます。

### JAコスモスショウガ部会の生産者GAPの取り組み

～GAP点検活動が始まる～



GAP点検シートの説明を聞く

JAコスモスショウガ部会では、平成29年度産ショウガの農協搬入時点から生産者GAPの取り組みを始めることになりました。

10月17日にJAコスモス伊野支所の出荷前説明会が開催され、29名の農家が出席しました。農業改良普及課が生産者GAP点検シート（共通基盤ガイドライン準拠）の要点と記入方法の説明を行い、出席者は点検項目を確認しながら各自の経営を振り返りました。

農業改良普及課は、今後、作付け計画から土づくり、さらに栽培期間を通じてJAコスモスショウガ部会のGAP定着を進めていきます。

### ナシ博士になれたかな？

～いの町出前授業を2小学校で実施～



果実のどこが一番甘いかな？  
上・中・下？

10月17日に伊野南小学校36名、10月19日に川内小学校12名の小学校3年生を対象に特産果樹である「新高梨」の出前授業を開催しました。農業改良普及課は、いの町役場・生産者・JAコスモスと協力し、「新高梨」の良さと農業に対する理解を深めてもらうために、糖度計を用いて果実の糖度を部分ごとに測定した後、試食してもらいました。

小学生からは「果実の上部が一番甘いと思っていたのに、下部が甘かった」と驚いた声上がり「こんなおいしいナシが食べられるなら農家になりたい」と将来性を感じさせる声も聞かれました。

農業改良普及課は、今後も出前授業の取組みにより、農業への関心を高め、次世代の農業者の育成を図っていきます。

全国の担い手農家が土佐市、いの町で交流と現地研修会  
～第20回全国農業担い手サミットinこうち中央西地域交流会開催～



現地研修会  
(ピーマン環境制御導入ほ場)

10月24日から25日にかけて、全国農業担い手サミットinこうち中央西地域交流会が、土佐市、いの町で開催されました。

中央西地域では、農業者、関係機関と実行委員会を立ち上げ、様々な農業関係のグループにも協力を呼びかけてきており、農業改良普及課が、コーディネートしてきました。

24日は、情報交換会（土佐市開催）において、各グループが地域の産物を使用した料理も提供し、25日には、環境制御技術や、6次産業等の取り組みなどの現地研修会も行いました。

農業改良普及課では、こうした取り組みを契機に、担い手農家の連携の強化を進めていきます。